盛岡第四高等学校　学校報

シルバーリーフの風

Ｎｏ．８
令和２年１１月５日発行
岩手県立盛岡第四高等学校
担当　副校長　川﨑　広幸

校内交通安全標語コンクールを実施

交通安全部門と盗難防止部門の２部門で、校内交通安全標語コンクールが実施されました。交通安全部門は、全校生徒からの応募を交通安全委員が一次審査を行い 57 点に絞り、教職員による二次審査の末、第１位には３年５組浅沼昇輔さんの作品が選ばれました。

盗難防止部門は、教職員により２点が優秀作品として選ばれました。

下記の５点は、ポスターにして校内に掲示しています。交通安全、盗難防止にいっそう気を付けましょう。

〈交通安全部門〉

第１位　渡ろうか　迷ったときは　やめようか　　３年５組　浅沼昇輔
第２位　あおらずに　車と車も　ディスタンス　　１年１組　髙橋諒多
第３位　イヤホンから　聞こえる音楽　聴こえぬ危険　　１年５組　佐々木琴未

〈盗難防止部門〉

優秀作　盗難を　事前に防ごう　二重ロック　　１年２組　齋藤心陽
優秀作　第四高　無くそう窃盗　施錠しよう　　３年４組　田村陸・中村稜来

惜しくも優勝逃す　～テニス部団体～

10 月 9 日～11 日、盛岡市太田で岩手県高等学校新人大会テニス競技が開催されました。東北選抜大会は団体戦のみの開催となり、東北大会出場者はありませんでした。来年度の高総体での王座奪還をめざし、冬季練習に励みましょう。

男子		女子	
団体	３位	団体	３位
シングルス　吉田拓貴	２位	シングルス　佐々木怜	１位
ダブルス　吉田拓貴・成澤恒太	３位	ダブルス　育村眞白・佐々木怜	１位

【岡本綺華さん】

団体戦は優勝にあと一歩届かず、東北大会の切符を手にすることはできませんでしたが、高総体に参加することのできなかった先輩方の想いも背負い、全力で試合に臨み、私たちらしいプレーができました。何が足りなかったのかをよく考え高総体に繋げ、男女ともインターハイ出場をめざします。

【成澤恒太さん】

団体戦は３位で東北大会出場を逃してしまいました。東北大会でプレーできないことは悔しいですが、今回の大会でたくさんの改善点を、個人としてもチームとしても見つける

ことができました。特に、日々の練習や生活などが結果に大きく影響していることを実感しました。練習を積み上げ、インターハイに出場し明るく元気な盛岡四高テニス部を全国に示していきたいと思います。

【吉田拓貴さん】

第２シードで参加したシングルスで第２位を獲得しました。シードを守れるか不安で、自分のプレーを見失いかけた時期もありましたが、コーチ、先生、仲間からのアドバイスで自分のプレーをすることができました。結果を出すのはもちろん、見ている方に楽しんでいただけるプレーを意識して練習したいです。

東北高校駅伝へ　陸上競技部女子

10 月 22 日（木）花巻市で、「第 32 回全国高等学校女子駅伝競走大会岩手県予選」が行われ、本校女子チームは第４位に入り、東北高校駅伝への出場権を獲得しました。

最長６キロの１区で、水川選手が区間２位の好走。その後も安定した区間順位でタスキを繋ぎ切りました。

区間	氏　　名	学年	区間順位
1	水川　陽香留	2	2
2	村上　さくら	1	5
3	五十嵐　千理	3	4
4	川村　　碧	2	4
5	佐藤　　美咲	1	7

【村上さくらさん】

コロナの影響もあり、短時間の練習だったため、一つ一つのことを大切に練習してきました。あまり調子が上がらず不安になってしまう時期がありましたが、先輩方や同級生に励まされ、大会に調子を上げなおすことができました。

【川村碧さん】

昨年から怪我ばかりで、思うように練習できないことが多かったので、東北高校駅伝の出場を決めることができて嬉しいです。急なお願いを快諾し、ブランクを感じさせないすばらしい走りをしていただいた先輩のおかげです。

【佐藤美咲さん】

自分の元にタスキが来るまで緊張や不安がありましたが、仲間の順位や頑張りを聞き、自分も頑張ろうと思えました。走っている最中、辛くなった時には、先輩たちとタスキを繋ぐ喜びや他の区間を走った４人のことを思い出し、走り抜くことができました。

並木道の清掃ボランティア

10 月 13 日（火）の放課後、２回目の並木道の清掃を行いました。今回は、五日市校長、北田副校長、川﨑に加え、テニス部女子 12 名が、部活動のオフを利用して参加しました。日頃の鍛錬を活かし、てきぱき箒を振るい、短時間で終えました。このチームワークで、来年度県チャンピオンを奪還してください。